

授業概要

公認心理師の指定科目である。
 公認心理師の法的責任及び5つの分野に関係する制度や法律や施設について学ぶ
 保健・医療分野、福祉分野（児童、高齢者、障害者）、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野における法律、制度について学ぶ。3名の各分野の専門家がオムニバス形式で講義を行う。

授業計画

第1回	公認心理師の法律と法的責任	長沼 秀明
第2回	教育分野における法律	長沼 秀明
第3回	教育分野における法律	長沼 秀明
第4回	保健医療分野における法律	西内 俊朗
第5回	保健医療分野における法律	西内 俊朗
第6回	保健医療分野における法律	西内 俊朗
第7回	福祉分野における法律	西内 俊朗
第8回	福祉分野における法律	西内 俊朗
第9回	福祉分野における法律	西内 俊朗
第10回	司法・犯罪分野における法律	西内 俊朗
第11回	司法・犯罪分野における法律	西内 俊朗
第12回	司法・犯罪分野における法律	西内 俊朗
第13回	産業・労働分野の法律	鈴木 潤也
第14回	産業・労働分野の法律	鈴木 潤也
第15回	産業・労働分野の法律	鈴木 潤也
第16回	試験	

到達目標

- ・保健・医療分野、教育分野、福祉分野、司法・労働分野、産業・労働分野の法律と制度について、理解できる。
- ・それぞれの分野での心理的課題と心理支援について公認心理師の役割を理解できる

履修上の注意

公認心理師の指定科目である。
 出席は3分の2以上するようにすること
 3名の講師によるオムニバス講義である。

評価方法

レポート課題提出による評価（70%）と毎回の授業の成果（30%）の総合評価

テキスト

担当教員の指示に従うこと
 他に適宜資料を配布します。